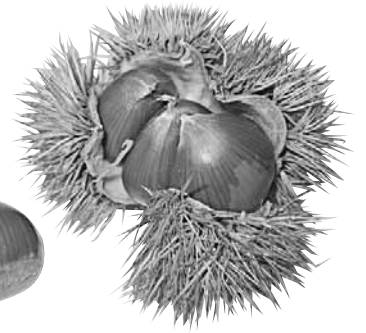


# かみふら 議会だより



No. 60

2008.10.25発行

題字 上富良野中学校 書道部 3年 高木 杏奈



天皇陛下に献上する献穀米御拔穂祭おぬいほさい(草分 平吹 俊一 圃場にて)

## 主な記事

- 上中吹奏楽部 2年連続全国大会出場の快挙..... P 2
- ふるさと納税がスタート..... P 3
- 燃料費高騰に伴う意見書等を国に..... P 3
- 「冬の生活支援を」など6名の議員が町政を問う..... P 5
- 沼田町「雪中保存米施設」を見る..... P 11
- もっと知りたいまちのこと No.5「わが町の自衛隊Ⅱ」..... P 13

9月定例会

# 第3回定例会開催される

第3回定例会が9月18日・19日の2日間開催されました。本定例会では、補正予算、条例の改正、報告案件、人事案件などが議決されたほか、意見書の提出などが発議されました。また、富良野広域連合議会議員の選挙が行われました。



## 上富良野中学校吹奏楽部 2年連続全国大会出場の快挙

上富良野中学校吹奏楽部が、埼玉県で行われる全国大会に出場することとなり、大会に出場する部員と引率の教員の旅費、楽器運搬にかかる費用のうち25万8千円を補正予算として議決しました。

### 質疑から

問

補正予算を組んで対応することもわかって、大切なのはお祝いの気持ちではないか。現在、消防車庫の方に懸垂幕が掲げられているが、子どもたちが一生懸命頑張っているということを、たくさんの方に知ってもらい、町として応援しているという姿勢を示すのに、場所が不適切では。すぐに庁舎正面玄関前に移動を。

答

庁舎正面に掲げるよう配慮する。

## 子どもセンター改修に 3千万円補正

地域介護福祉空間整備の先進事業として北海道から3千万円の交付金を受けて子どもセンターの改修を行う補正予算が可決されました。お年寄りとお子供たちとのふれあいを目的として、より使いやすく改修するものです。



改修が始まった子どもセンター

## 住民税公的年金特別徴収システム 整備に1750万円補正

これは、平成21年1月までに市町村が地方税の電子化に対応する必要があると国からの指示があったことによるもので、給与支払い報告書の電子化等による手間や費用の削減、間違いが防げるなどの事から本年度中に整備をするものです。

また、社会保険庁などからの年金受給者がわざわざ役場等に出向いて住民税を払わなくても年金から直接支払いされる仕組みになります。

## 平成20年度各会計補正予算可決

平成20年度一般会計、国民健康保険特別会計の補正予算が可決されました。これにより平成20年度一般会計予算は2億1,655万円の増額補正をして、予算総額74億3,119万3千円となりました。

国民健康保険特別会計の補正額及び予算は次の表のとおりです。

会計名	補正額	総予算
一般会計	2億1,655万0千円	74億3,119万3千円
国民健康保険特別会計	223万7千円	14億5,794万2千円

## ふるさと納税がスタート

「ラベンダーの里かみふらのふるさと応援寄付条例」を原案どおり可決しました。

今年1月ふるさと納税制度がスタートしたことを受けて、ふるさとに恩返しをしたい、好きな地域を応援したいという思いを形にするために、これまで居住地に納入していた個人住民税の一部を、応援したい地域の自治体に寄付として納入することを可能にするもので、上富良野に思いを寄せた人たちが、寄付という行為を通してまちづくりに参画し、豊かで活力あるまちづくりに資するための条例です。

### 質 疑 問 から

**問**

納税していただくためにどのようなPRを考えているか。善意が単年度で終わらないために、どのようなふれあいを考えていくか。

**答**

町ホームページや広報誌への掲載、札幌及び東京上富良野会でのPRなど、知人、友人を通して協力を依頼したい。

**問**

ラベンダーに限定しないで、環境とか子育て支援などにも使えるようにしてはどうか。

**答**

町長が必要と認めるまちづくりに関する事項で対応したい。

## 町立病院の運営理念を明確化

「上富良野町病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決しました。その主な内容は、

- ・医療法の改正に伴い、循環器科を循環器内科に改める。
- ・町立病院は地域の住民が安全で安心して暮らすために必要な医療機関として存在していることから、運営理念を明確化し、職員自ら律することで信頼される病院づくりを進めるための改正です。

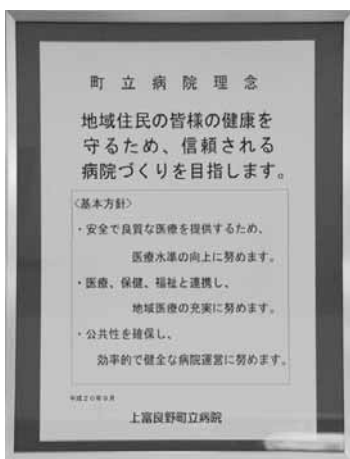
### 質 疑 問 から

**問**

すばらしい理念であるので、職員に周知徹底してほしい。

**答**

原案を作成するにあたり、経営改善の検討委員会を作り、できるだけ多くの職員がかかわり、各部署の代表者からなる主任者会議にはかり、最終的に院長の決裁で決定し、すでに病院内に掲示し、徹底している。



病院待合室に掲げてある町立病院理念

## 3 意見書を国などに提出しました

### 北海道の活性化を図るための地方分権改革の推進に関する意見書

今後の北海道開発行政のあり方を検討し、町民や地方自治体に不安が生じないなど、北海道開発局の廃止論議に反対する旨の意見書です。

### 農業用生産資材高騰等に関する意見書

原油価格高騰による飼料・肥料や農業用生産資材の高騰対策など、わが国農業の持続性と食料の安定供給、農村の維持を図る旨の意見書です。

### 原油価格高騰による住民生活に関する意見書

町民の安定した生活確保や児童福祉施設、老人福祉施設等における安心な生活の場の確保に関する旨の意見書です。

## 富良野広域連合議会議員を選出

9月1日に発足した富良野広域連合議会議員として、次の3名を選出しました。

議長 西村昭教  
総務産建常任委員長 渡部洋己  
厚生文教常任委員長 中村有秀

教育委員会委員

菅野博和氏・北川雅一氏の

選任に同意

平成20年9月30日で菅野博和委員と中澤良隆委員が任期満了となるため、町長から菅野博和氏（再任）と北川雅一氏（新任）の選任の同意が求められました。

菅野博和氏（かんの・ひろかず）

昭和26年北海道立旭川農業高等学校を卒業、同年4月より本町において農業に従事。スポーツ振興審議会委員、上富良野中学校PTA会計、副会長、会長などを歴任し、現在、しろがね土地改良区理事。平成16年10月1日から現職。  
西12線北36号在住



北川雅一氏（きたがわ・まさいち）

昭和44年北海道立富良野高等学校を卒業、昭和45年4月より本町役場に勤務し、議事事務局長、企画財政課長、総務課長などを歴任し、平成20年10月1日より教育長。  
宮町3丁目在住



臨時会

第3回 臨時会

平成20年度上富良野町一般会計補正予算（第3号）

富町団地町営住宅新築工事の地質調査委託費と工事請負費、老人保健特別会計への繰出金などによる補正額118万9千円を可決しました。

平成20年度上富良野町老人保健特別会計補正予算（第2号）

事務費分の補正額15万円を可決しました。

財産取得の件（スクールバス）

江花・島津線を行っているスクールバスわかくさの取得932万4千円を可決しました。

農業委員に数山善一氏を推薦

農業委員が任期満了となるため、議会推薦の委員を1名推薦しました。

推薦委員は、第3回臨時会において動議により、数山善一氏とすることに決定しました。

農業委員は公選による委員9名、農協・農業共済組合・土地改良区・議会からそれぞれ1名推薦され、計13名で構成されています。



第4回 臨時会

富町団地町営住宅新築工事（建設主体工事）請負契約変更の件

杭の継ぎ足しと工期延長による冬期養生費等の追加に伴う契約変更を可決しました。

専決処分の承認を求める件（平成20年度上富良野町一般会計補正予算（第4号））

消防車庫内の事故修理費などによる補正額189万1千円の専決処分を承認しました。

平成20年度上富良野町一般会計補正予算（第5号）

老人保健特別会計へ繰出金と、税源移譲に伴う個人町民税還付、富良野広域連合への当町負担金、東中学校ソフトテニス部の全道大会出場に伴う助成などの補正を可決しました。

平成20年度上富良野町老人保健特別会計補正予算（第3号）

医療給付金などの補正額1237万9千円を可決しました。



村上 議員

## 生活はさらに厳しい 今年も早急に冬の生活支援を 12月定例会前に冬の生活支援を考える

**村上議員** 昨年にも増して原

油価格高騰や食料品の値上げ  
等が家計を直撃している。

昨年12月に高齢者世帯、ひとり親世帯、障害者世帯の中で、低所得者を対象として灯油他生活必需品の確保のため1万円の商品券を支給したが十分な対応が取れなかったと考える。今年はずっと早く該当基準を見直し、12月から3月までの期間の生活支援制度の実施を。

**尾岸町長** 昨年実施した冬の生活支援事業は制度上課税対



象外の年金収入を得ている世帯が予想以上に多かったため、大幅に予定を下回った。手続きや時間的な要因ではないと考えている。

できる限り早期の実現に向け考える。

**村上議員** 早い時期とはいったのか。対象者拡大や商工会の商品券等商工会の助成が必要になるのでは。昨年と違った方法をとる考えは。

**尾岸町長** 対象者の拡大はなく、昨年と同様な形で考えている。時期は少々遅かったと認識しており、11月に臨時議会での対応を考えている。

商工業の皆さん方は商工会として何らかの展開が生じてくるかもしれないので、それらについてはそれらの中で行政として対応を考えたい。

## 国保ヘルスアップ事業の評価の検証と町独自の生活習慣病の予防対策と町民への啓蒙を

生活習慣の改善を自ら選択し、行動に結びつけることが徐々に定着している

**村上議員** 国から助成事業として国保ヘルスアップ事業に取組んで3年目になるが、医療費の抑制効果や事業の評価はどうであったか。

**尾岸町長** 17・18年度の国民健康保険一人あたりの医療費は北海道平均と比べて一般・

退職者・老人すべてにおいて全道平均より低い数値になっている。町民が生活習慣の改善を自ら選択し、行動に結びつけることが徐々に定着した成果と考えているが、一方で国保が抱える特徴的な新たな課題もあらわれ、一人で30万〜60万円と高額な医療費をようした、加齢とともに体調を崩し、退職後職域から国保に移る、国保加入者の努力では防ぎきれない課題がある。

町独自の取り組みとして、肝機能の低下、各検査で基準値より外れた人、高血圧症の

コントロール目標に到達していない人、若年でデータの悪い人等々、一人ひとり面談し、手厚い保健指導をしている。啓蒙（ブルーリボン運動）については、その時期をすでに越えていると認識している。

**村上議員** 携帯電話のメールでの指導とか生活習慣病記録の無料貸与等考えられないか。

**尾岸町長** 携帯電話のメールによる指導、個別指導の充実等、対応については検討する。



国保ヘルスアップ教室の様子



今 村 議 員

## 観光客増加のさらなる努力を 努力はしているが限界がある

**今村議員** 上富良野町は観光の町として温泉も魅力の一つですが、入浴マナーなどは必ずしも良くない。観光客により良い町の印象を持っていたくためにも、マナー向上の努力が必要であると思う。当然、お金も余りかかりませんが、観光客も「マナーやモラルの良い町・上富良野」を国内外にPRしてくれるとも考えます。そうすれば観光客が飛躍的に増加する可能性もあり、マナー等の向上に取り組む必要があると思うかがかか。

**尾岸町長** 町の観光施設には多くの観光客が訪れている。それぞれの施設には接遇に関

しての配慮をお願いしており、日々努力していると認識している。

入浴マナーについては、今年3月に宿泊施設関係者にマナー等の掲示をお願いをした。町民のマナー向上については、町民相互の注意喚起と個人の自己啓発をお願いしたい。

**今村議員** 入浴マナーは今もあまり良くない。3月にお願

いしてから現状を確認したか。

**尾岸町長** この種の問題は、行政がお願いしたことが実践されているか監督するような課題ではない。

**今村議員** 確認することは常識と考えている。マナーやモ

ラルは個人差がある。また、町民相互の注意喚起も限界があると思う。やはり町で取り組む必要があるのでは。

**尾岸町長** それぞれの施設に啓発活動はできるが、それを行政が強制はできない。

**今村議員** 強制せよとは言っていない。他にいろいろなやり方があるのではないかと。さて、パンフレット・案内板あるいは誘導標識などの外国語での対応は。

「気配りがある町」というPRのために、あるいは今後増加が見込まれる上海からの観光客のためにもさらに取り組む必要があると思うが。

**尾岸町長** パンフレットについては、観光協会において、英語、韓国語、中国語による総合的なものを作成しており、在庫数をみながら改訂版による対応を考えている。誘導標識は、富良野・美瑛広域観光推進協議会で取り組んでいる中国上海観光客の誘致のためにも、中国語等の対応について検討の必要があると思っ

## 国歌「君が代」の教育状況は 音楽教科の時間や 特別活動で指導している

**今村議員** 国旗及び国歌に関する法律が施行されて久しい。

また、小中学校の新しい学習指導要領が今年3月に文部科学省の官報に告示されたが、これによるまでもなく、現小中学校学習指導要領において、例えば小学校では、いずれの学年でも音楽で国歌「君が代」の指導をすることとなっている。そこで、昨年度の各小中学校での教育課程に基づく国歌「君が代」の指導やその教育時間などの実態を伺いたい。

**中澤教育長** 現在、わが町の小中学校における国歌「君が代」の指導の実態については、音楽教科の時間や特別活動の中に位置づけして指導を行っている。また、卒業式や入学式などには、式次第の中に国歌「君が代」を歌う場面を位置づけし、行事の日が近づくと、式で歌う曲の練習時間を設け、その中で国歌「君が代」

の指導も行っている。

23年度からの新学習指導要領においては、現学習指導要領の「指導する」から、「歌えるように指導する」に改められたので、継続的に指導の場面を設け、より歌声が響き渡るよう、学校への指導に努める。

**今村議員** わかりました。国歌に敬意を払うことは世界の常識であると思うが教育長の考えを。

**中澤教育長** 平成11年にこの国旗国歌法が成立し、この国歌については、子供たちが将来国際社会で国旗・国歌、国というものを考える。考えるということは、相手の国についても十分尊重をするようになる。そういうようなことから、これは大切なことであり、継続して指導をする。

## 社会福祉協議会が実施している 家事支援サービスに対する支援の強化を 家事支援サービスが 効果的に展開されるよう協議したい



米 沢 議 員

**米沢議員** 社会福祉協議会では、高齢者の方を対象にした家事支援事業を単独事業として実施しているが、町としての今後の支援体制について伺いたい。

**尾岸町長** 社会福祉協議会においては、「日常生活に必要な家事支援サービス」を展開している。この事業は、要介護者が在宅で安心して日常生活を営むことができるよう、介護保険で給付対象とならない家事支援サービスを有償提供するもので、町においても高齢化が進展し、高齢者が住みなれた場所で生活していくためにもこの事業は必要と考える。今後この家事支援サービスがより効果的に展開されるよう関係者と協議し、検討したい。



ホームヘルパー派遣事業を行っている社会福祉協議会

## 福祉灯油の実施を 冬の生活支援事業を実施したい

**米沢議員** 原油の高騰は、生活関連商品にも影響が及んでいます。今年も高齢者や生活困窮者の方たちに対する福祉灯油の実施をすべきと考えますが、対応について伺いたい。

**尾岸町長** 昨年の生活支援事業は予想した500世帯を大幅に下回り175世帯の実績となりました。それは課税対象外の年金収入を得ている世帯が予想

以上に多かつたため、今年度におきまして、高齢者など経済的弱者の生活が、昨年度にも増した厳しい状況になることが予想されますので、昨年に引き続いて、冬の生活支援事業を実施するよう考えています。昨年の実施状況を踏まえ、その内容等について早急に検討するよう指示しております。

## 公営住宅の水洗化の促進を 21年度から水洗化計画の見直しをしたい

**米沢議員** 水洗化未実施の公営住宅の入居者からは、水洗化実施の要望が出されており、対応について伺いたい。

**尾岸町長** 水洗化未実施の公営住宅総数は27戸あり、30年の耐用年数も経過している住宅も多く、耐用年数を過ぎた公営住宅の水洗化改修には国の交付金の採択も難しく、こ

れを町単独で実施することは財政的にも困難な状況にあります。まずことから、現在のところ住宅の維持修繕などを優先させるおえない状況にあります。新築計画が長期にわたる公営住宅については、21年度から水洗化計画の見直しをしてまいります。

### その他の質問

**Q** 公共施設等の耐震計画は  
**A** 公共施設、民間住宅の耐震診断費用や改修費用について整備をはかりたい

**Q** 原油高による、農業者・福祉施設に対する支援は  
**A** 国や道の対策をみながら検討してみたい

**Q** 障害者のショートステイの受け入れについて  
**A** 今後、受け入れできるように努めたい



谷 議 員

## 日の出公園臨時駐車場の不適切な使用について

転用違反の駐車場に公金である補助金を交付し続け、深くお詫びしたい

**谷議員** 昭和62年より5年間、農地の一時転用が農業委員会で承認され、知事の許可を受け使用されてきたが、平成4年4月で転用期間は切れているはず。今日まで農地に復元もされず駐車場として使用されており、平成13年より町は借上げ料年150万円を観光協会に補助金として拠出、総額は1千200万円になる。補助金を投入し続けている町の責任は、**尾岸町長** 平成4年4月以降当該地については違法な使用状況にあり、公金である補助

金を交付したことは申し訳なく、心から深くお詫びを申し上げたい。  
**谷議員** 一時転用は農地への復元が許可の絶対条件であるが、転用期間が切れた平成4年時点での農地復元の現地確認と工事完了届提出の経緯は平成18年6月に現地確認をされたようだが、その時点での農業委員会の意見は、**松藤農業委員会会長** 農地復元の確認をした経緯はなく、また、完了届が出された経緯もありません。16年間一度も

農地に復元されたことはなく、この間に復元命令及び指導を行ったことがないことも事実です。平成18年6月12日に許可申請があり利用状況を確認し、転用許可を可決した。  
平成18年7月18日付で農業会議に転用に関する諮問書について協議したところ、数年利用するなら永久転用との指導があり、諮問内容を削除しこの件は提出せず、現在に至っている。対処に不手際があったことをお詫び申し上げます。  
**谷議員** 町長も農業委員会会長も違反転用であることをお認めになりますね。  
**尾岸町長** そのとおりです。  
**松藤農業委員会会長** そのとおりです。

**谷議員** 補助金の総額1千200万円を町長は1千50万円と言っている、今年度分は支払をストップしているのか。  
**尾岸町長** 不法を認識した時点で今年度は支払をストップしている。  
**谷議員** どの時点で転用違反と認識したのか。  
**尾岸町長** 今年の6月である。  
**谷議員** 同じ質問を農業委員会会長に。  
**松藤農業委員会会長** 平成18年6月12日、転用違反について認識した。  
**谷議員** 認識のずれの説明を。  
**尾岸町長** 平成18年に申請をして農業委員会で承認をして道に申請したとの報告を受け、その後は確認しておりません。  
**谷議員** この土地は下水道が通っているが、農地だから猶予されているとは思いがたく、永久転用状態の土地は現況判断で賦課されるはず。では、なぜ猶予されているのか。町長の裁量権以外にないと思うが、その判断基準は。  
**尾岸町長** 不法転用であることについて認識していなかった。公共的に大勢の皆さんが都市公園の駐車場として利用していることを配慮して猶予している。

**谷議員** 平成18年3月に地権者が町長へ出した質問状の中で本人が転用違反を認めている。質問状に書かれているのか。町長は見えていないのか。  
**尾岸町長** 見ている。この時点では法的に対応していないとの文書であった。その後、農業委員会が申請を承認したとの報告を受けている。  
**谷議員** 平成18年に審議されているが、取り下げている。  
**尾岸町長** その当時取り下げの認識はしていない。  
**谷議員** 補助金の返還を要求すべきと思うが、いかがか。  
**尾岸町長** 返還対応は、基本的に規定に従い対処していくべきものと考えている。  
**谷議員** 今借りているのは8千800平方メートルだが、今後全部を必要とするのか、あるいは縮小の考えは。  
**尾岸町長** 半分位の面積でとの要望も観光協会よりあり、検討を加えたい。  
**谷議員** 町民の納得できる価格交渉を。  
**尾岸町長** 公園を管理する町の甘さがあった。購入を前提として進めたい。責任は私自身にもあると認識している。早急に対処したい。





農地復元工事中の日の出公園(平成20年9月19日写す)



中 村 議 員

## 16年間の農地法違反しての日の出公園臨時駐車場利用は平成4年から16年間無許可で利用させた不手際をお詫びする

**中村議員** 日の出公園臨時駐車場は、昭和62年に5年間の期限付きで、農地の一時転用が許可された。しかし、一時転用は農地に復元することが義務付けられているにもかかわらず、農業委員会が農地法違反を放置し、利用を認めていたのか。  
**松藤農業委員会会長** ご指摘のとうり、無許可で農地を復元させることもなく、駐車場として16年間も利用させていた不手際をお詫びする。

**中村議員** 農地法違反を知ったのはいつか。

**尾岸町長** 一般質問を受けて確認した。平成18年に知ったが、一時転用申請を農業委員会が認め、道に諮問書を提出した報告を受けた。

**松藤農業委員会会長** 平成18年に認識した。

**中村議員** 町長も会長も平成18年に認識しているが、平成18年6月28日の農業委員会総会で一時転用の5条申請が承認、道に諮問書を提出したが、昭和62年許可の件が復元されていない理由で受理されなかったのを承知しているか。

**松藤農業委員会会長** この5条申請の諮問については、削除した経過がある。

**中村議員** 一時転用申請は削除したというが、農地法違反を承知で利用を認めたのか。

**松藤農業委員会会長** 今後も通年利用であれば、永久転用が望ましいと指導を受けた。早急に結論が出ないことから、今日に至っており、不手際を深くお詫びする。

**中村議員** 平成13年から年間

150万円駐車場借上げ料として、かみふらの十勝岳観光協会に補助金を支出しているが、補助金申請時の書類不備及び法令違反があるが。

## 高齢者等の冬の生活支援事業の実施継続を収入額の制限緩和と対象者の拡大にて実施する

**田浦副町長** いろいろと不手際と不適切があったことに対し、事務の現場責任者として心からお詫びする。今後の再発防止に努めていく。

**中村議員** 原油高騰と諸物価の値上がり、高齢者、低所得者の生活を圧迫している。昨年に引き続き冬の生活支援(福祉灯油を含め)を対象者拡大と収入制限の緩和をして、

早期にその実施を求め。

**尾岸町長** 昨年実施の反省にたつて、新たな視点から限度額が適正なのかを含めて検討を指示し、収入限度額の緩和と対象者拡大を考えている。

## 虚偽の疑いある障害者手帳の交付について北海道と連携して対処する

**中村議員** 特定医師の聴覚障害診断書の記載内容に虚偽の疑いがあることが報道され、障害者手帳の返還者が北海道で789名、当町で5名あり、その障害者手帳による医療費助成・補装具助成、町民税等の減免で合計57万6897円受けている。その返還措置について伺う。

不正取得の解明が進められているが、不正が確定すれば、道と連携して対処する。

**中村議員** 助成・減免された金額を自主返還の申し出があった場合は。

**尾岸町長** 本人からこういう状況であるから返還したい旨があれば、自主返納として受け取る考えである。

**尾岸町長** 現在は司直の手で、



和田 議員

## 組織機構改革の成果と課題は チームの力で発揮していく体制確立

**和田議員** 組織機構改革が実施され、それまでの16課65係体制から、現在の10課22班体制へ移行しましたが、これまでどのような成果があり、また、課題が残っているとすればどのような事か。

**尾岸町長** 少ない予算、少ない人員の中で行政が果たすべき役割を組織としてチームの力で発揮していく体制が確立できた。介護保険制度等新たな事業や制度が出来たにもかかわらず、定年退職者の減を一部しか採用せず60名以上の職員を削減することが出来た。課題としては、職員が多くの

エリアの事業内容をいかに認識するか、職員の大変な努力と能力が必要になってきているが、スタッフ制の機能を充実させるために、全職員が努力していると認識している。  
**和田議員** スリム化は賛成であるが、人員削減は町に残り



役場庁舎内総合案内板

たい新卒者や町に戻りたいという人たちの働く場所を少なくしていくことになり、人材に断層が起きないように計画的に進めてほしい。

**尾岸町長** 歳入が減っていく中で、人件費15%削減ということが行革の大きなテーマであり、聖域なき改革を進めているが、組織機構上大きな支障をきたすことは絶対避けなければならぬ。

**和田議員** 働く場を少しでも多くするということで、職種によってはワークシェアリングを導入しては。

**田浦副町長** 現段階では課題があり、すぐに取り入れる状態にはないが、将来的には取り入れていきたい。

## 上高存続のため新しい振興策は 進路学習で上中3年生が上高訪問

**和田議員** 上高の存続問題については3月の定例会で最重要課題にあるとの町長答弁

だったが、今年の入学者は私たちの願いもむなしく26名であった。来年度以後もこのような状態が続く様であれば、この次の見直し時には、当然統廃合の対象となるのではないか。将来的な見直しはどうか。また、何か新しい振興策は考えているか。

**中澤教育長** 平成24年以後ににおいても、富良野圏域の中学校卒業者の減少が見込まれることから、上高に影響が及んでくると考えている。入学者数の減少を食い止めるために、入学準備金の助成、資格試験受験時の補助など、対策を講じてきた。

今年から上中3年生全員が進路学習のため、上高を訪問する事業を行った。

**和田議員** 上高訪問した生徒の感触はどうだったか。

**中澤教育長** 必ずしも即進路選択につながることはならないと思うが、どんな施設か、どんな活動をしているか等知り得たことは良かったと思う。

**和田議員** 平成18年には統合反対の存続運動で8千421名の署名を集め、町議会で存続を求める意見書を議決しているにもかかわらず、26名の入学者しか確保できないということとは、町や議会の良識が問われるのではないか。

**中澤教育長** 今年富良野高でも十数名の空きが出るという状況の中で、どのような振興策をとつたらいいか、日々頭を悩ませている。



恒例の強歩遠足

(注) ワークシェアリング...より多くの人で仕事の総量を分け合うこと

## 全道町村議会議員研修会 先進市町村行政調査報告

平成20年7月1日に札幌コンベンションセンターで開催された北海道町村議会議長会主催の研修会に全議員14名で参加しました。

また、平成20年7月2日には先進地行政調査として、空知管内沼田町で「沼田式雪山センタープロジェクト」に至るまでの過程及び冷熱エネルギーの有効利用や実情を見聞してきました。



### 全道町村議会議員研修会

『分権改革と地方議会のこれから』と題した講話の中で坪井ゆづる氏（朝日新聞編集委員）は国と地方議会との関係、首長と議会の関係、住民と議会の関係また住民にどのように理解されているのか、今後地方分権が進むにつれて権限責任は益々大きくなるだろう。また議会改革の着眼点に「老人男性」から「老若男女」の構成であるべきとし、また議会はプロ化する人たちと、ボランティア化する人たちに二極化していくだろうと語っていました。

また、『混迷する政局と日本の進路』と題し、三宅久之氏（政治評論家）による講話があり、原油価格や穀物の高騰状況と原因、世界的食糧危機と自給率について、また、人口減少と少子高齢化により社会保障を見直す時期にあり、30歳未満の女性の未婚率が40%であることや、年収が200万円未満の労働者が30%も占めている現状を掲げ、結婚し、家庭を築ける環境をつくる事が国政に必要だと語った。



### 先進市町村行政調査 空知管内沼田町

調査地沼田町は、空知管内北西部に位置し、面積283・21平方キロメートル、人口約4千人、農業主体の内陸型気候の町です。

大量に降り積もる雪を有効利用できないものかという発想から、一ヶ所に集積し、被覆材（バーク材）で覆うことで夏まで保存している。河川横の町有地に巨大な雪山（5千トン〜1万トン）として堆積し、雪を切り崩したり、融雪水を利用して農産物

貯蔵施設・花卉栽培施設・牧場の肥育舎や農産物の生産加工に役立てている。また生涯学習総合センター「ゆめつくる」、雪の科学館の冷房やスノークールファクトリー（米穀低温貯留乾燥調整施設）で米（もみ）2千500トン貯蔵する事で、4月〜7月でも温度を5度、湿度70%に保ち、品質を一定にして消費者に「おいしいお米」「雪中米」として人気があり、7月2日現在で貯蔵するお米がないほど売れている。

施設は平成19年から北いぶき農業協同組合沼田支所（旧沼田町農業協同組合）が指定管理者として運営している。年間8千万円の維持管理費がかかるが、町からの繰り入れはしていない。

### まとめ

炭鉱の閉山により人口減少が著しい中、平成14年、「雪と共生するまちづくりを指して輝け雪のまち宣言」をし、厄介者の雪を、利活用した点は農業・産業の活性に繋がり、今の時代、環境問題や、省エネルギー・CO2削減において、大変有意義であり、先進的な考えは大いに参考になりました。



## 全道議会広報研修会・ 先進市町村行政調査報告

平成20年8月18日から20日の間、議会広報特別委員会（6名）は、議会の活動をよりわかりやすくするための広報誌づくりを目指し、北海道町村議会議長会主催の研修会及び道新札幌印刷「フムフム館」、北海道新聞本社への見学や先進市町村である「むかわ町」で視察調査し、研修に参加しました。



### 全道議会広報研修会

札幌市内第2水産ビルで433名が出席しました。

広報プランナーの和田雅之氏による「議会報づくりと時代の潮流」と題した講演が行なわれ、情報はスピード感を持って伝える事が大切で読み手は、何が知りたいのか、「何を伝えなければならないのか」「見極めて書く事が重要であると語った。また紙面づくりのノウハウや流れのあるレイアウトやラフスケッチ、またイラストや写真をより効果的に用いる工夫が必要だとの講話が

あり、和寒町や鹿追町などの広報誌を例に上げてのアドバイスや、全国議会広報コンクールでの上位入賞作品についての説明を受け、研修を終えました。

### 先進市町村行政調査 胆振管内むかわ町議会

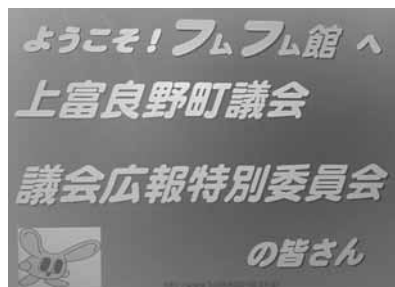
むかわ町は旧穂別町と旧鶴川町の合併により誕生した、人口1万35人、4052世帯（平成20年7月末）の町です。合併後は良い面をお互いに認め、また「一問一答」方式の掲載方法や「議員誰でもが作れる広報」を目指していた。また任期は4年で副議長や各常任委員長が必ず広報委員となっている。広報の発行・編集の責任者は議長で、議会全体で行っているという意識が感じられました。

むかわ町議会広誌報発行状況  
名称「議員でつくる議会だより」  
発行回数 年4回  
（各定例会後、翌月末日発行）  
発行予算 1,017千円/年 4,800部発行



### 道新札幌印刷「フムフム館」 北海道新聞本社

テレビやインターネットの普及が著しい中、スピード感を含め「今何を伝えるべきか」「記事に間違いはないか」「読者に読みやすく書かれているか」を追求しており、文字の大きさも以前は一段15文字だったのが10文字になり、また、新しい情報だけでなく、地域性を重視し、読者の立場に立った新聞づくりをテーマとしていました。



### まとめ

町民は議会広報を読んで、「何を知らたいのか」また、「議会の何を伝えるべきなのか」を再確認すると共に、「なぜそうなったのか？」の過程をわかりやすく伝える責務を強く感じた。また編集にあたっては、議会で審議された事を公平・公正かつわかりやすく伝えなければならぬ事や、町民の声として取り入れたり、議会に関心を持っていただけるよう広報委員が主体となり「愛される議会広報を目指すべき」と強く感じました。

「もっと知りたい町のこと」シリーズでは、前号に引き続き「わが町の自衛隊」と題して自衛隊をとり上げました。自衛隊は、やはり知っているようで、あまり知られていないのが現状です。そこで50年以上も町民の皆様とともに歩んできた上富良野駐屯地を主体に、多くの町民の皆様により深く理解していただけるように、駐屯地広報室のご協力をもとに、パートⅡとして掲載しました。

# もっと知りたい まちのこと

No.5

『わが町の自衛隊Ⅱ』

## 北部方面隊の駐・分屯地



女性自衛官(WAC)の訓練の様様

## 陸上自衛隊の編成

- 1.方面隊 2.師団 3.旅団 4.団 5.連隊・群 6.大隊 7.中隊 8.小隊

### 災害派遣

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 昭和37年 6月29日 | 十勝岳噴火災害派遣           |
| 56年 8月 3日   | 担当隊区全域水害災害派遣        |
| 63年12月26日   | 十勝岳噴火災害派遣           |
| 平成 7月 3日13日 | 阪神大震災復旧作業隊派遣        |
| 19年 8月 5日   | 新潟中越沖地震災害派遣         |
| 19年11月23日   | 上ホロカメットク山雪崩遭難事故災害派遣 |



上ホロカメットク遭難事故救出の様様

### 自衛隊海外派遣(上富良野駐屯地派遣人員)

- |             |                  |        |
|-------------|------------------|--------|
| 平成 5月 3日 8日 | カンボジアPKO派遣(11名)  | 約 6 か月 |
| 6年 9月29日    | ルワンダ難民救護隊派遣(7名)  | 約 3 か月 |
| 14年 2月29日   | 東ティモールPKO派遣(21名) | 約 6 か月 |
| 16年 1月 6日   | イラク人道興支援派遣(27名)  | 約 3 か月 |

# 陸上女性自衛官(WAC)

## 陸・海・空 女性自衛官

WAC (ワック) 陸上女性自衛官  
Woman-s Army Corpsの略

WAF (ワッフ) 航空女性自衛官  
Woman in the Air Forceの略

WAVES (ウェーブ) 海上女性自衛官  
Woman Accepted for Volunteer  
Emergency Serviceの略



### 藤高和美 (1等陸尉) 上富良野出身

本年8月西部方面總監部防衛部(熊本県)へご栄転となりましたが、女性自衛官としてのお話と町に対する要望などを伺いました。

自衛官であった父の制服姿に憧れて朝霞駐屯地にある婦人自衛官教育隊(当時)に入隊してはや22年、無我夢中で駆け進んできました。振り返るとその当時はまだ女性隊員も少なく、通信・会計科職域がほとんどであり珍しい存在でした。

現在においては女性自衛官の職域も拡大され、聖域として踏み入れなかった普通科、特科、そして「女は乗せない戦車隊」と言われた機甲科にも門戸が開かれ、上富良野駐屯地にも約60名の女性自衛官が男性自衛官に負けじと日々黙々と勤務しております。基本的には、男性隊員と変わらず同じ給料をもらうので甘えは許されないと肝に銘じていますが、どうしても女性特有の「体力の差」「出産」「育児」等により退職する隊員も多いのが現状であります。

しかしながら今後少子化により、募集難が予想されるご時世において「女性自衛官の役割」も増大されると思います。職務(国防)を全うするため、簡単にやめなないためには子育て支援ボランティアや、病後保育等の施設環境が必要となりますので、男女参画出来るまちづくりを期待したいと思います。ますます「強く明るく麗しく」輝いている女性隊員をつぎ「ご期待！」

## 自衛官部外協力

### 富良野市【第104特科大隊】

スキーフェスティバル  
全国高校選抜スキー大会  
ワールドカップ  
富良野市防災訓練

### 美瑛町【第120特科大隊】

ヘルシーマラソン  
宮様スキーマラソン  
十勝岳防災訓練

### 南富良野町【第131特科大隊】

金山湖太陽と森と湖の祭典  
南富良野町消防訓練

### 上富良野町【第2戦車連隊】

花と炎の四季彩まつり  
雪まつり雪像製作  
十勝岳防災訓練

### 中富良野町【第3地对艦ミサイル連隊】

ラベンダーまつり  
雪まつり雪像製作  
農業まつり  
町在住隊員交流会



上富良野町 あんどん行列参加協力

### 自衛官退職後の就職状況

自衛官は、特別国家公務員として位置づけされています。公務員の退職は満60歳の3月31日となっていますが、自衛官の多くは満54歳の誕生日をもって退職となります。

そこで、地域で再就職の場があることも大きな課題ですが、現在は表のように100%の再就職の状況になっています。

就 職 地	16年	17年	18年	19年
町 内	16	5	15	13
富 良 野 管 内	7	9	6	12
管 外	3	3	4	6
未 決 定	0	0	0	0
合 計	26	17	25	31
就 職 率	100%	100%	100%	100%

### き章 陸上自衛隊

き章は、それぞれの厳しい特別訓練を終了した自衛官だけに与えられる。制服の胸に輝くき章は自衛官としての誇りである。

#### レンジャーき章



いぶし銀色の金属製のもので、金剛石を中心にして、その両側に月桂樹の葉を配したもの。レンジャーまたは空挺レンジャーの教育訓練を終了した陸・空各自衛官が着用。

#### 射撃き章



特級



准特級

#### 不発弾処理き章



#### 体力き章



#### 格闘き章



上級指導官



部隊指導官

### スキーき章



上級スキー指導官



部隊スキー指導官

いぶし銀色の金属製のもので、スキーと雪の結晶を組み合わせたものを中心にして、両側に月桂樹の葉を配したもの。

スキーに関する技能決定において、定められた基準以上の成績を修めた陸上自衛官が着用。

### 音楽隊の地域協力

#### 上富良野町

上川南部消防総合演習  
ふれあい広場  
富良野地方入隊予定者  
激励会  
保育所の合同クリスマスパーティー支援



このほか、富良野地方各市町村へのイベント等の協力や各福祉施設への慰問活動も行い、年間を通じて活躍しています。

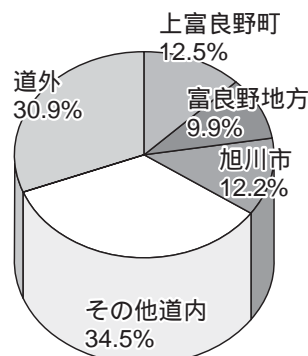
農業の町、商業の町、自衛隊の町として観光の町上富良野町、その一角をなす上富良野駐屯地と自衛隊に対する理解が少しも深まったでしょうか。

駐屯地を取り巻く現状として、駐屯地の削減が大きく横たわっていますが、町長をはじめ町民が一体となって「削減ストップ」の運動に取組んでいます。町の将来のためにも駐屯地の現状維持が望まれるところで

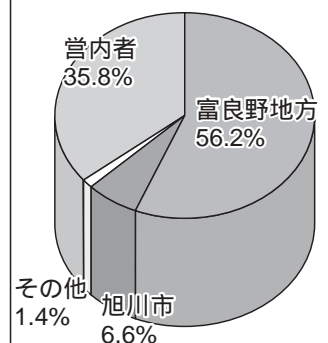
上富良野に駐屯する各部隊の細部の紹介については別な機会に掲載したいと思いま

### 駐屯地隊員の出身地及び居住状況

#### 出身地



#### 居住場所



# 議会の“窓”



## 沿線議員研修会に参加

9月30日に上富良野町において開催された富良野沿線市町村議会議長会が主催する議員研修会に全議員が出席しました。

内容は、講師に富良野協会病院副院長の角谷不二雄氏を迎え、「いま、富良野の救急医療があぶない」と題した講演を受けました。

## 公共施設などを調査 - 町内行政調査を実施 -

10月3日に町内行政調査を実施しました。調査箇所は富町団地公営住宅や町立病院外溝など、現在工事を進めている場所や工事予定の場所など9箇所を視察しました。



## 議会の動き

- 【7月】
- 30日 徳島県三好市議会視察来町
- 【8月】
- 1日 富良野広域市内草地組合議会
- 18～20日 全道議会広報研修会・先進地行政調査 議会運営委員会
- 29日 議会運営委員会
- 【9月】
- 2日 議会広報特別委員会
- 3日 厚生文教常任委員会
- 5日 総務産建常任委員会
- 9日 消防議員協議会・消防議会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 議員協議会
- 18日 議会広報特別委員会
- 19日 第3回定例会
- 25日 議会広報特別委員会
- 30日 富良野沿線市町村議会議長会研修会
- 【10月】
- 1日 雄武町議会視察来町
- 3日 町内行政調査
- 7日 富良野地区環境衛生組合議会 全員協議会
- 9日 議会広報特別委員会
- 10日 決算特別委員会
- 14日 決算特別委員会
- 15日 議会広報特別委員会
- 16日 議会広報特別委員会
- 20日 厚生文教常任委員会 全員協議会
- 21日 総務産建常任委員会 上川管内町村議会議員研修会

## 随感随筆



◆次から次へと発覚する食品の品質産地偽装、最もいとおしい関係であるはずの親子間での痛ましい事件、理不尽な無差別殺傷事件、増え続ける振込め詐欺等々。私たちの身近なところで起こらないとは限らない時代になってきました。

◆北京五輪男子マラソンの優勝者ワシントン選手は、日本で学んだことは「がまんすること」と言っていました。

◆豊かさ、便利さを追い求め続けた結果、私たちは自制心を忘れ、安心、安全な生活を失ってしまったのではないのでしょうか。今一度生活の質を見直してみませんか。

◆前号から限られた予算と時間の中でより変化を持たすために、単色印刷ながら、季節ごとに印刷のインクの色を変えてみました。いかがでしょうか。

◆議会の様子をよりわかりやすく伝えるべく、研修会で学んできたことを活かして、より良い広報誌づくりに努力したいと思います。

(和田 記)

- 委員長 岩田浩志
- 委員 谷 忠
- 今村辰義
- 和田昭彦
- 佐川典子

議会の様子を見にきてください！ 次回定例会は12月中旬頃の予定です。

発行/上富良野町議会 印刷/㈱上富印刷  
〒071-0596 北海道空知郡上富良野町大町二二二  
☎(067)4516992 ㊟(067)4515362